

防災・減災特別企画 講演会

「東日本大震災から5年を振り返る ～公共建築の復旧と創生～」 を開催しました

東北地方整備局と公共建築協会の共催により、3月24日仙台市青葉区のAER（アエル）にて「東日本大震災から5年を振り返る～公共建築の復旧と創生～」と題し講演会を開催しました。

はじめに、川瀧東北地方整備局長、春田公共建築協会会長より開会挨拶があり、川瀧東北地方整備局長から「東日本大震災から5年、公共建築も調査、点検からはじまり順調に復旧・復興が進んだ。5年という節目で、イベント等を通じて震災を振り返り、課題を風化させないよう記録や記憶を伝承することが重要。」と挨拶がありました。



〔開会挨拶（川瀧局長）〕



〔営繕部の活動報告（西澤営繕部長）〕

次に、〔第一部 報告〕として西澤営繕部長より「東北地方整備局営繕部の活動」と題し、東北地方整備局営繕部の震災後5年間の活動概要として、震災直後の対応、復旧工事の実施及び自治体支援などについての報告を行いました。また、最近の防災・減災への取り組み事例として津波避難ビルとして復旧整備した石巻港湾合同庁舎、東北地方の広域防災拠点として整備を実施した仙台合同庁舎B棟の紹介を行いました。



〔基調講演（五十嵐教授）〕

引き続き、〔第二部 基調講演〕として東北大学大学院教授の五十嵐先生より「3.11震災とその後の公共建築」と題し、東日本大震災が建築のあり方や公共建築にどのような影響を与えたかについて、五十嵐教授監修の「3.11東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか」展及び「3.11以後の建築」展を中心に基調講演を頂きました。

そのなかで、五十嵐教授は公共建築におけるリダンダンシー（冗長性）の必要性、商業建築とは違う役割と使命、良いものをつくって長く残すことの重要性等に言及されました。



〔建築パネル展開催状況〕

また、同時開催の「建築パネル展（復旧と創生）」では、東北地方整備局、公共建築協会、地方公共団体及び業界団体による東日本大震災被災当時の対応、震災に対する取り組み状況等のパネルを展示し、多くの参加者が熱心に見ておられました。

今回の講演会は、さまざまなお立場の皆様約150名に参加して頂き盛大に開催することができました。今後も公共建築のあり方について、広く一般の方々に関心を持って頂く取組みを継続しながら、5年前の教訓を災害対策、施設整備に活かしていきたいと考えております。

「東日本大震災から5年を振り返る」

～ 公共建築の復旧と創生 ～

◆ 基調講演 ◆

「3.11震災とその後の公共建築」

I プロフィール

- 1967年 フランス・パリ生まれ
 2000年 東京大学大学院博士課程
 「新宗教の空間 その理論と実践」
 で学位取得〈博士（工学）〉
 2005年 東北大学大学院工学研究科
 都市・建築学専攻助教授
 2009年 東北大学大学院工学研究科
 都市・建築学専攻教授



東北大学大学院 工学研究科
 教授 五十嵐 太郎 氏

現在に至る

I 活動・受賞

- 2011年 あいちトリエンナーレ2013の芸術監督に就任
 2014年 あいちトリエンナーレの功績により芸術選奨新人賞芸術振興部門を受賞

プログラム

受付 12:30～

開演 13:30

【第一部 報告】 13:45～
 東北地方整備局営繕部の活動について

【第二部 基調講演】 14:30～
 「3.11震災とその後の公共建築」
 東北大学大学院 工学研究科
 教授 五十嵐 太郎 氏

同時開催 建築パネル展（復旧と創生）

12:30～17:00

※敬称略



I アクセス I

- 仙台市営バス（宮城交通）仙台駅前より徒歩約3分
 地下鉄南北線仙台駅（北8番出口）より徒歩約4分
 JR仙台駅（名掛丁方面8番出口）より徒歩約2分

◆ 報 告 ◆

「東北地方整備局営繕部の活動について」

日 時：平成28年3月24日（木）
 13:30～16:00（受付 12:30～）

場 所：AER（アエル）5階
 仙台市情報・産業プラザネットU 多目的ホール

2011年3月11日の東日本大震災から5年が経過し、地震・津波被災地を中心として復興は着実に進展、そして、新たなステージ「復興・創生期間」を迎えました。

今回、5年という節目の年に当時を振り返り、東北大学大学院教授の五十嵐先生より「3.11震災とその後の公共建築」と題し基調講演をいただくとともに、東北地方整備局営繕部の取り組みを紹介し、今後の防災・減災について考えたいと思います。

問合せ先：国土交通省東北地方整備局
 営繕部 調整課（TEL：022-225-2171）

共催：国土交通省東北地方整備局／一般社団法人公共建築協会
 後援：青森県／岩手県／宮城県／秋田県／山形県／福島県／仙台市
 （一財）建築保全センター／（一財）建築コスト管理システム研究所
 （公社）日本建築家協会東北支部／（公社）日本建築積算協会東北支部
 （一社）宮城県建築士会／（一社）宮城県建築士事務所協会

入場無料（要申込）定員150名

お申し込みはHPを参照願います。

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00093/K00490/eizen/index.html>

東北地方整備局営繕部

検索

